

BELLA GAIA JAPAN

BELLA GAIA LIVE PRIVATE PREVIEW IN JAPAN

主催 ベラ・ガイア・ジャパン実行委員会

協力：JPAデジタルプラネタリウムワーキンググループ

出演者紹介

Kenji Williams ケンジ・ウィリアムス

アメリカと日本を拠点に世界的に活動するアーティスト。7歳よりクラシックバイオリン奏者としてのトレーニングを積み、コンテストに多数受賞。その後アジア、アラブ各地を旅しながら、バイオリン即興演奏を重ね、現地の音楽にインスピレーションをうける。

2001年より東京にも拠点をもち、日本、アメリカ、ヨーロッパなど、ビッグフェスティバルを含む世界各地でライブ活動を行う。最近では2005年モロッコで行われたフェスティバル「Rhythms Of Peace」でのメインアクト、同年東京お台場にて約2万人の観客を動員した「NAGISA フェスティバル」でのメインステージをつとめている。また映像と音楽が組み合わされた作品群により数々の国際的な映画賞を受賞し、映像作家としての才能も発揮している。

ジャンルにとらわれない新しい挑戦をし続ける彼のアイデアは多彩で活動も幅広く、アメリカの先進アート界の重鎮、アレックス・グレイや映画「マトリックス」のDVD解説を手がけた、同じくアメリカの有名な哲学者ケン・ウィルバーらと共にマルチメディアイベントも手掛けている。

●公式ウェブサイト <http://kenjiwilliams.com/>



大平貴之 Takayuki Ohira



1970年、神奈川県川崎市生まれのプラネタリウム・クリエイター。小学生の頃にプラネタリウムに魅せられて以来、一貫してプラネタリウム製作に取り組み続ける。学生時代に、個人製作は不可能と言われたレンズ投影式プラネタリウムの開発に成功。1998年、従来のプラネタリウムの百倍以上となる投影星数150万個のプラネタリウム「MEGASTAR (メガスター)」をIPS (国際プラネタリウム協会) ロンドン大会で発表した。その後も開発を進め、2004年に投影星数560万個の「MEGASTAR-II、cosmos (コスモス)」が『世界で最も先進的なプラネタリウム』としてギネスワールドレコードに登録される。愛知万博さしまサテライト会場をはじめとした各地での移動公演のほか、松任谷由実やKIROROなど音楽アーティストとのコラボレーションも積極的に行う。ネスカフェ・ゴールドブレンドのTVCMにも「違いを楽しむ人」として出演。2005年8月には、世界初の光学式家庭用プラネタリウム「HOMESTAR」を発売、累計24万台を売り上げるヒット商品となる。

2008年6月、投影星数2200万個でシリーズ最高機種となる「Super MEGASTAR-II」をIPS (国際プラネタリウム協会) シカゴ大会で発表し、圧倒的な星空が世界のプラネタリウム専門家を驚嘆させた。

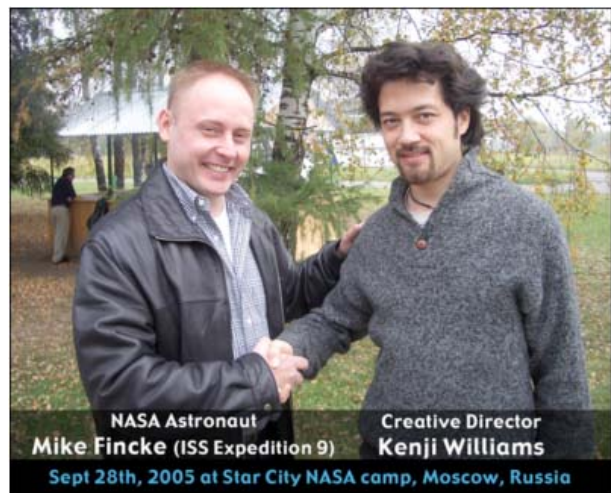


●公式ウェブサイト <http://www.megastar-net.com/>

Kenjiが語る、ベラ・ガイアについて

それは、星の街から、始まった

私は2005年、ロシアの星の街でソユーズロケット発射を視察した際、国際宇宙ステーションに6か月滞在したNASAの宇宙飛行士マイク・フィンク氏に会い「宇宙に行って何が変わったのか」という根源的な問いかけをしました。その答えが、「私は完全に、地球に一目惚れしました。今までに感じたことがない感情でした」というものでした。宇宙飛行士の多くは、国境がないことに驚き、すべてのいのちが、地球というひとつの家を共有していることや、宇宙に浮かぶ地球が大変に美しく、自分がそこに属しているんだ、と感じるといいます。彼の言葉から、地球と私たちが、感情でつながることの重要性を確認し、言葉を越えたメッセージの強さと、アートが持つ力を通じて、「宇宙飛行士の感動を擬似体験し、この星の生命と、そこに住む私たちの文化を体感する」というメッセージを含めたアート作品へのビジョンが生まれ、ベラ・ガイアのコンセプトとなりました。



ベラ・ガイアとは、美しい地球



漆黒の宇宙空間に浮かぶ、光り輝く美しい星、それが地球です。宇宙から見る大気圏は、薄いベールのような繊細なものです。地球という大きな生命は、空、海、山、川、陸地の繋がりと調和により育まれています。宇宙から見る地球に国境線はありません。そこには様々な自然の営みがあり、それぞれの暮らしや歴史があります。

そんな地球を、私たちは大切だということを知っています。ところが、「環境」や「地球温暖化」という言葉を聞いたとき、どれほどの人が感情的に怒りを感じるでしょうか？ 私たちは、自分たちの唯一の住み処、「地球」が本当に危機的な状況にあるということを理性ではなく、感情で捉えるこ

とができいていないのです。つまり、多くの人が多く宇宙飛行士が体験する、地球への一目惚れをしていたら、地球が本当に美しい場所だということを実感し、地球への愛の感情をもったとしたら、世界は大きく変わるのではないのでしょうか？

参加者の感想「初めての不思議な体験でした」

ベラ・ガイアの特長は、NASAの宇宙衛星が観測した最新の地球観測データをハイエンドな3D映像により可視化し、そこに世界の文化遺産や民族文化の映像を融合させたところにあります。現在HD作品として制作され、将来的にプラネタリウムでの上映を前提としたドームマスター作品として完成予定です。作品の上映は、音楽のライブ演奏と融合したマルチメディアショーとして行われます。2007年、第一回目の公演をデンバーの「ゲイツプラネタリウム」で開催し、NASAでのプレゼンテーションも行いました。ベラ・ガイアのショーを体験した方々から、「初めての不思議な体験でした」、「地球という星の美しさを体感した」、「かけがいのない地球を愛おしく思った」、「多くの人に見てもらいたい」という感想をいただきました。

アートによる、科学・文化・エンターテインメントの融合

1961年4月、人類は「地球はひとつ」を実感しました。人類最初の有人宇宙飛行であるボストーク1号で、地球を初めて宇宙から見たのです。そして今、人類はふたたび「地球は一つ」を実感しています。私たちは今、自分が住んでいる狭い環境で考えるのではなく、未来の地球全体を考える必要があります。アマゾンの森林破壊や世界の大気汚染の実情を宇宙から眺める、地球に住まう人々の多彩で素晴らしい文化を感じる……。地球的な視点で環境を眺め、温暖化により変化する地球環境の姿を、誰もが感じられる手法で提供するテクノロジーと感性を手にしたのです。

私たちが日常見ることの出来ない視点から地球を体感し、宇宙的な座標を持つことが出来るユニークな体験。アートによる科学と教育の新しい統合であり、21世紀に相応しいグローバルなエンターテインメントの姿。それがベラ・ガイアです。



ベラ・ガイアの内容

宇宙飛行士の視点と世界旅行の疑似体験

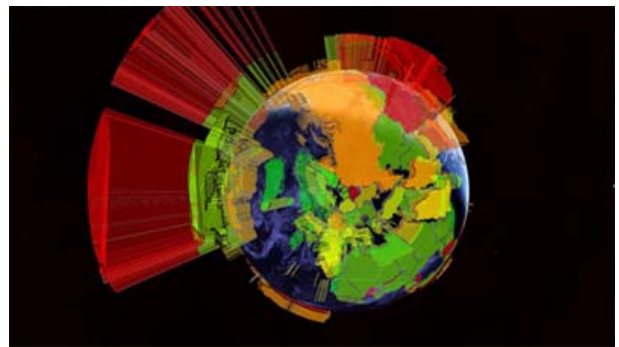
上演される作品は、今までにない視点の映像と音楽による地球体験です。その映像は、衛星から見た地球（Uniview（別紙参照）によるCGの動画）と、地球上の自然や民族文化、歴史的な遺産（写真+動画）などとの合成により構成され、宇宙飛行士の視点と世界旅行の疑似体験をもたらします。その圧倒的な映像クオリティと、ケンジ・ウイリアムスによる情緒溢れる演奏とのハーモニーは、年齢や性別、人種や国籍を超えて、見る者の心に深く語りかけてきます。デンバーでは三日間の公演が行われ、三回の公演は完売。7歳から80歳までの幅広い観客を集めました。



ベラ・ガイアの現状と今後

ベラ・ガイアの様々な展開

ベラ・ガイアはさまざまな形態に展開可能です。大学での上映、美術館、博物館でのライブ上映や、プラネタリウムでのナレーション付きの上映も可能です。テレビでの配信やDVDでの展開も可能。また、パートナーとなった研究機関やスポンサー様とのコラボレーションとして、カスタムメイドの上映プログラムを作成可能です。オンラインでのダウンロードやストリーミングなどの展開も予定しています。



ベラ・ガイアプレビュー上映・プレゼンテーション実績

プレビューの上映実績を来場者のコメント付きで紹介します。

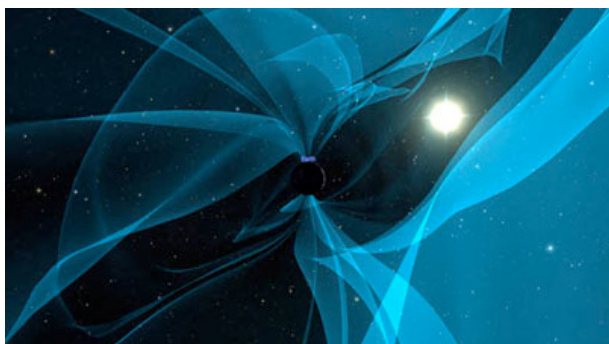
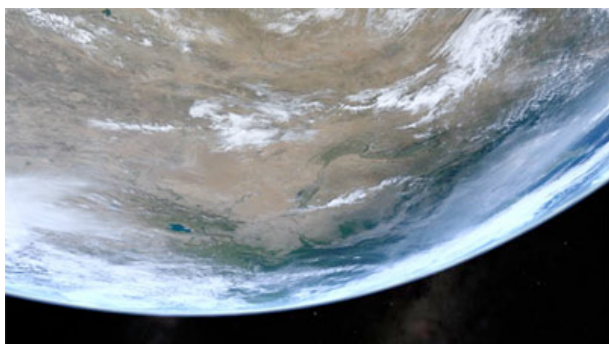
- * ガイアジャーニーズ（2007年2月、3回の公演はすぐに売り切れ、追加公演もおこなった。） 「人々の意識を変えることができると確信している」 5人中4人が「また行きたい」とコメント
- * NASA ゴダート（2007年10月、30分のプレゼンテーションと10分のライブ） 「通常の科学教育の限界を打ち破る可能性がある」
- * NASAエイムス・ユージズ・ナイトフェスティバル（2008年4月、メインアクト。2000人の観客）
- * 国際プラネタリウム学会（IPS）（シンプルなプレゼンテーションと HDプロジェクター＋Surroundシステム、600人参加） 「ため息の出る映像、美しい音楽……地球とつながった感覚がありました」
- * スミソニアン・フォーク・フェスティバル/NASAフェスティバル（2008年6月、ミュージシャンやベリーダンサーとの共演を行った。また、ここでNASAのトップ科学者とのコラボレーションとして、ベラ・ガイアの教育的側面を実験するために、NASAの衛星データとの融合を試みた。「科学者になりたいという子どもの頃の夢を思い出した」



Uniview（ユニビュー）について

世界最新鋭のスペースエンジン

アメリカ自然博物館（ハイデンプラネタリウム）が開発した最新鋭のスペースエンジンであり、プラネタリウムにおける世界最先端・最高峰のソフトウェア。地球から宇宙の果てまでを高精度に可視化する圧倒的な映像クオリティと、リアルタイム演出のために練り込まれた秀逸な操作性が特徴。世界最高峰の3D宇宙データベース「Digital Universe」を内包し、NASAなどの協力のもとに最新の研究成果を取り入れつつ、日々機能拡張を続けている。現在はスウェーデンを本拠地とする「SCISS AB」と日本の「オリハルコンテクノロジーズ」が共同開発を行っている。7月に全世界イベントとして開催された「LIVE EARTH」の中で、映画『不都合な真実』で知られるアメリカ元副大統領アル・ゴアのスピーチの背後にライブパフォーマンスで上映された。



BELLA GAIA JAPAN

ベラ・ガイアをご覧になって何を感じましたか？
感じたことをあなたは誰に伝えたいですか？

サイエンス、エコロジー、スピリチュアル、エデュケーション、
その源にある音楽と映像……

ベラ・ガイアが描く世界は、地球という大きな地図です。
コンパス次第で広がる世界がそこにあります。

一人でも多くの人と感じたことを分かちあいたい。
この地球という白地図にあなたの色を加えて欲しいのです。

あなたのアイデアを、あなたのネットワークを、
想像して創造して欲しいのです。

ベラ・ガイアを私たちと一緒に育ててください。
あなたのサポートとビジネスプランをお待ち申し上げます。

お問い合わせ：

ベラ・ガイア・ジャパン事務局設立準備室 〒183-0004 東京都府中市紅葉丘2-42-58

tel:042-316-9714 fax:042-316-9715 email:info@bellagaiajapan.com

<http://www.bellagaiajapan.com>